

北海道情報大学における入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

本学の教育は、自ら問題を発見し、ICT（情報通信技術）を活用してその問題を考え、異なる意見を持つ人たちと議論し、チームとして解決策を導く人材の育成です。

本学ではこのことを実現するため、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定取得等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、建学の理念等を理解・共感し、本学で学ぼうとする強い意欲・意志を持った学生を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で示している6つの知識・能力を身に付けられる学生を、多様な入学者選抜方法により受け入れています。

《 経営情報学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） 》

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力や思考力等が身に付いていて、デジタルビジネスを始めとする経営や情報システムの分野に関心がある学生を求めている、本学入学後の学びや諸活動を通して、自ら問題を見出し追求していく姿勢や、自身を向上させようとする意欲があり、情報システムの開発や運用あるいはICT（情報通信技術）を利活用した経営のための基本的な能力を身に付けられる学生を求めています。

■先端経営学科 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の先端経営学科の経営とシステムの専門領域に興味・関心を持った学生を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- 生涯にわたり常に社会の動向を意識し、経営と情報技術との関連性からマネジメントの課題に関心を持ち、主体的・持続的に学ぶことができる人
- IT社会における高度な情報技術と経営の専門知識を活用して経営課題を解決し、豊かな社会の実現に寄与できる人
- 異文化を理解し、国際感覚に優れた人
- 市民としての倫理観と自覚を持ち、社会に貢献できる人
- 多様な意見や資料から必要な情報を収集・選択し、自分の考えを的確に表現でき、周りに感動を与え、行動を引き出すことができる人
- IoTなどの情報技術を活用して自ら進んで経営課題を解決し、地域の活性化や街づくりなど幅広く社会との連携を深めてビジネスを創造できる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えることができる人
- 情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

大学では高等学校での学習内容を土台として講義が展開されます。「国語」、「数学」、「英語」のような基礎科目は、大学の講義を理解する基盤となるだけではなく、物事を論理的に思考することやコミュニケーションを身に付けることに役立つ科目です。「情報」も当学科の専門教育を受ける上で土台となる科目です。加えて経営には幅広い知識が求められます。そのためにはインターネットのみならず、雑誌、書籍などを読み、世の中の動きを知ることが重要です。

■システム情報学科 入学受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学のシステム情報学科に興味・関心を持った学生を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- グループで議論や活動ができる人
- ネットワーク、セキュリティ、データベース、システム開発技術などに関する知識や技術を有し、企業、インターネット、スマートフォン向けなどの情報システムの開発に従事できる人
- 人工知能、機械学習、データ解析などの知識を有し新しいビジネスを提案できる人
- 宇宙開発や宇宙情報利用およびそこで必要な高品質、高信頼性ソフトウェアの開発に関する基礎的な知識や技術を有し、社会の様々な分野で必要とする高信頼性ソフトウェア・システムの開発に従事できる人
- 情報技術を活用して社会の各分野で貢献できる人
- 情報や数学において教員として従事できる人
- 異文化を理解し、国際感覚に優れた人
- 市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人
- 自分の考えや提案内容をわかりやすく説明できる人
- 情報技術を活用し、専門知識（システムエンジニア、情報科学、宇宙情報に関する知識）を生かして、課題を発見し解決できる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えることができる人
- 情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

コンピュータシステムは、あらゆる産業界で使用されます。卒業後にどのような分野で活躍するにしても、コミュニケーション力、語学力(国語、英語)と「論理的思考力」(数学、英語)が必要とされます。「国語」の「文章表現力」や「口頭表現力」は、コミュニケーションの基本であり大学の講義をはじめ社会に出ても必要な力です。「数学」は、物事を論理的に考える訓練ができる科目で、この科目で身に付く「論理的思考力」は、情報処理技術者ではとくに重要ですが、他の職種でも大事な能力です。「英語」の基礎学力は、最先端のICT技術をいち早く知る上で重要です。また、「英語」を読むには、文法を踏まえて理解する必要があります。「数学」と同様に「論理的思考力」を養うことができます。また、様々な科目で文章を理解し問題を解くことは、「理解力」を養う上で重要です。

様々なことをそのまま鵜呑みにするのではなく、疑問を抱き納得できるまで自分で調べる態度を忘れずに、勉強に取り組んでください。その態度が、システム情報学科での修学を実り多いものにするはずです。

《 医療情報学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） 》

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、思考力、主体的に学修に取り組む意欲・態度・志が身に付いていて、医療の専門分野に関心がある学生を求めている、本学入学後の学びや諸活動を通して、自らを向上させようとする意欲や教養、感受性、モラル、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力等が身に付けられる学生を求めています。

■医療情報学科 医療情報専攻 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の医療情報専攻に興味・関心を持った学生を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- 生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報処理、食と健康と情報、生命維持管理を学び社会に還元できる人
- 専門的医学知識や医療情報システムを基盤として情報処理技術を活用して、診療情報や医療情報管理・運営ができる人
- 食と健康に関する専門的知識、健康情報を管理・分析ができヘルスリテラシー向上を推進できる人
- 人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人
- 異文化を理解し、国際感覚に優れた人
- 市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人
- 円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人
- 幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人
- 医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えることができる人
- 医療情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

大学では高等学校での学習を基盤として講義が展開されます。文章表現力とコミュニケーション力の基本となる国語、医学・医療の専門用語およびICT技術を理解するための英語は基礎学力として重要です。情報も当学科の専門プログラムを受ける上で土台となる科目です。高等学校で学んだ範囲を確実に身に付けてください。

■医療情報学科 臨床工学専攻 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の臨床工学専攻に興味・関心を持った学生を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- 生涯にわたり最新の医学・診療情報、医療情報処理、食と健康と情報、生命維持管理を学び社会に還元できる人
- 専門的医学知識、高度かつ多様化する医療機器に対応できる基礎的知識を修得し、指導的立場となる臨床工学技術を駆使できる人
- 人間についての幅広い専門知識を用いて、対象者が持つ背景や価値観の多様性を理解し、医療人としての自覚を持ち、チームの一員として行動ができる人
- 異文化を理解し、国際感覚に優れた人
- 市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人
- 円滑なコミュニケーションをとることができ、他職種との連携・協働を行うことができる人
- 幅広い医療や健康分野に直面する問題を見出し、解決するために実践的知識および医療や健康情報資源を活用し、主体的に問題を解決することができる人
- 医療人として人命の尊厳と人格を尊重し、自己洞察ができる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えることができる人
- 医療情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

臨床工学専攻では4年間を通して多くの科目が必修として設定されています。課された講義や実習に真摯に取り組むために必要となる健康な身体を育んでください。また専門的な科目の内容を理解するためにはしっかりした国語力、また入学後必要な英語については高校レベルの力はしっかりと身に付けていることが大切です。また1年生から専門的な科目も始まりますので高等学校の数学Ⅰレベルの数学についても身に付けてください。

《 情報メディア学部 入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー） 》

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、思考力、主体的に学ぶ意欲等を身に付け、デザインとテクノロジーの専門分野に関心がある学生を求めています。また、本学入学後の学びや諸活動を通して、自らを向上させようとする意欲や教養、感受性、モラル、問題発見・解決能力、コミュニケーション能力等が身に付く学生を求めています。

■情報メディア学科 入学者受入れの方針（アドミSSION・ポリシー）

卒業認定・学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）で定めている育成すべき人材像を実現するため及び教育課程編成・実施の方針（カリキュラム・ポリシー）に定める教育を受けるために、高等学校等での学びや諸活動、資格・検定試験等で得た基礎学力、基礎知識、語学力、読解力、論理的思考力及び主体的に学ぶ意欲等を身に付け、本学の情報メディア学科に興味・関心を持った人を求めています。

また、本学入学後の学びや諸活動を通して、次のような能力を身に付けられる学生を求めています。

- 学ぶ意義を理解できる人
- 自らの目標を持ち、生涯にわたりその実現のために行動できる人
- ICTを積極的に活用し、デジタルコンテンツを制作できる人
- ひとつの専門技術を持ち、多くの周辺技術を理解できる人
- 映像、動画像、音声などのデジタルコンテンツを処理できる人
- IoT（モノのインターネット）やゲームプログラムの開発に従事できる人
- ウェブアプリケーションやモバイルシステムを開発できる人
- ネットワークの構築、運営、管理、セキュリティに代表されるインターネット基盤技術を修得できる人
- 異文化を理解し、国際感覚に優れた人
- 社会、文化、倫理的な側面を理解し、行動できる人
- 市民としての倫理観と自覚をもち、社会に貢献できる人
- 高度なコミュニケーション能力を備え、チームワークを得意とする人
- ビジネス、デジタルコンテンツ等の発想力・企画力・計画力・実行力・評価力を備えることができる人
- 物事を幅広い視野からとらえ、論理的思考を備えることができる人
- 情報社会において必要とされる豊かな自己表現力を備えることができる人

大学入学までに身に付けて欲しいこと

大学では高等学校での学習内容を土台として講義が展開されます。「国語」、「数学」、「英語」といった基礎科目はあらゆる講義の基盤となるだけでなく、物事を論理的に思考することにも役立つ重要な科目です。とりわけ、「国語」の「文章表現力」や「口頭表現力」は、コミュニケーションの基本であり大学の講義をはじめ社会に出ても必要な力です。「数学」はICT関連技術やICTを用いたデザインを、論理的に理解・表現するために必要です。「英語」の基礎学力は、最先端のICT技術をいち早く知る上でも、プログラム言語の理解や国際的なコミュニケーションのためにも必要です。

また、「情報」も当学科でのプログラムの専門教育を受ける上での土台となる科目です。高等学校で学んだ範囲を確実に身に付けておくことが大学での勉学につながります。

2025年度入学者選抜方針（全学部・全学科・全専攻共通）

●学校推薦型選抜（公募制） 1期・2期

高等学校での活動において優れた点を持ちかつ大学教育を受ける能力があると学校長が認めた学生に対し、書類審査（調査書の学習や活動報告、資格取得、検定に関する記載）、小論文試験（課題に対する理解力、論理的思考力、文章表現力等）、面接試験（論理的思考力、コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等、口頭試問を含む）により選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
調査書(学力審査)	○		
調査書(資格、諸活動)	○	○	○
小論文	○	○	
面接(口頭試問)	○	○	○

●学校推薦型選抜（指定校制） 1期・2期

高等学校との信頼関係に基づき、高校生活の中で学力、人物ともに優れておりかつ大学教育を受ける能力があると学校長が特に責任を持って推薦する学生について、書類審査（調査書の学習や活動報告、資格取得、検定に関する記載）及び面接試験（論理的思考力、コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等、口頭試問を含む）により選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
調査書(学力審査)	○		
調査書(資格、諸活動)	○	○	○
面接(口頭試問)	○	○	○

●総合型選抜

学力選抜とは異なり、エントリー作文（入学希望理由、活動報告について明確かつ具体的に表現しているか等）や面接試験（コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等）、適性テスト（論理的思考能力、基礎的計算能力等）、書類審査（調査書の学習や活動報告、資格取得、検定に関する記載）、課題レポートにより、専門への適性、熱意、関心等を多面的に評価し選抜します。また、起業・スタートアップ人材枠では、プレゼンテーションを重視した選抜を行います。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
エントリー作文		○	○
適性テスト	○	○	
グループ面接		○	○
プレゼンテーション	○	○	○
調査書(学力審査)	○		
調査書(資格、諸活動)	○	○	○
課題レポート	○	○	

●高大連携総合型選抜

高校時に本学の高大連携授業を受講した者について、エントリー作文（入学希望理由、活動報告について明確かつ具体的に表現しているか等）や面接試験（コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等）、適性テスト（論理的思考能力、基礎的計算能力等）、書類審査（調査書の学習や活動報告、資格取得、検定に関する記載）、課題レポートにより、専門への適性、熱意、関心等を多面的に評価し選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
エントリー作文		○	○
適性テスト	○	○	
グループ面接		○	○
調査書(学力審査)	○		
調査書(資格、諸活動)	○	○	○
課題レポート	○	○	

●総合型特別選抜

学力選抜とは異なり、作文（入学希望理由、活動報告について明確かつ具体的に表現等）や面接試験（志望学科の興味・関心・理解度、コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等、口頭試問を含む）、適性テスト（論理的思考能力、基礎的計算能力等）、書類審査（調査書の学習や活動報告、資格取得、検定に関する記載）により、専門への適性、熱意、関心等を多面的に評価し選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
作文		○	○
適性テスト	○	○	
面接(口頭試問)	○	○	○
調査書(学力審査)	○		
調査書(資格、諸活動)	○	○	○

●一般選抜(1期・2期)

本学独自の記述式学力試験により基礎学力が身についているか、また調査書及び大学入学希望理由書より主体性等を判断し、総合的に評価し選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
学力試験	○	○	
調査書(資格、諸活動)	○	○	○
大学入学希望理由書		○	○

●一般選抜(英語外部検定利用型)

指定する英語外部検定の基準を満たしており、かつ、本学独自の記述式学力試験により基礎学力が身についているかを判断します。また調査書及び大学入学希望理由書より主体性等を判断し、総合的に評価し選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
英語外部検定、学力試験	○	○	
調査書(資格、諸活動)	○	○	○
大学入学希望理由書		○	○

●大学入学共通テスト利用選抜(前期・中期・後期)

本学独自の学力試験は課さず、大学入学共通テストの得点により基礎学力が身についているか、また調査書及び大学入学希望理由書より主体性等を判断し、総合的に評価し選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
共通テスト	○	○	
調査書(資格、諸活動)	○	○	○
大学入学希望理由書		○	○

●編入学選抜

本学へ編入学する目的意識や学ぶ意欲について、小論文試験(課題に対する理解力、論理的思考力、文章表現力等)及び面接試験(コミュニケーション能力や主体的に学ぶ意欲、積極性等)により選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
小論文	○	○	
面接		○	○

●特別選抜(外国人留学生・帰国生徒)

外国人留学生

国際交流が盛んになり、私費外国人留学生の志願者が多くなってきている今日、本学においても国際的に広く人材を求めることを目的としています。勉学意欲、目的意識がしっかりしている留学生に対し、日本語作文(基本的な日本語能力、文章表現力等)及び面接試験(修学に必要な日本語能力やコミュニケーション能力、本学で学ぶ意欲、積極性等)により選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
日本語作文	○	○	
面接		○	○

帰国生徒

海外の様々な分野で日本人が活躍している中、外国の教育機関で正規の教育課程を修了し、貴重な異文化体験を活かし帰国してくる学生に対し、日本語作文（課題に対する理解力、文章表現力等）及び面接試験（コミュニケーション能力や本学で学ぶ意欲、積極性等）により選抜します。

評価する学力の3要素	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
日本語作文	○	○	
面接		○	○